



令和 6 年 8 月 26 日

紹介議員

氏名

出 澤 大



件名 「牛久市環境基本計画及び牛久市地球温暖化対策実行計画」

の早期の見直しを求める請願

請願者代表者

住所 茨城県牛久市



氏名

ゼロエミッションを実現する会・牛久

代表



電話番号



牛久市議会議長

諸橋 太一郎 様

1 件名

「牛久市環境基本計画及び牛久市地球温暖化対策実行計画」の早期の見直しを求める請願

2 請願の趣旨

IPCC 報告書 AR6 によると、2035 年までに世界全体で GHG 排出量を 60%削減(2019 年比)することが必要と明示されています。少なくとも 2013 年比 60%以上を達成する為には、牛久市の環境基本計画における 2030 年の削減目標を、2026 年を待たずに早期見直し、33%から引き上げ改定が必要であると考えます。

3 請願の理由

2023 年 3 月に発表された IPCC 報告書 AR6 では、1.5 度を達成するためには、温室効果ガスの排出量を「2035 年までに 60%削減すること」が必要と明示されました(2019 年比)。今のままでは、2040 年には 1.5°C 上昇が起きってしまうと言われています。そのため、2030 年までの行動が、2050 年までの温暖化に大きな影響を及ぼします。

2023 年 12 月に開催された COP28 では、1.5°C 目標の確実な実現のために「化石燃料からの脱却の加速」「2030 年までに再生可能エネルギー容量を 3 倍、省エネ改善率を 2 倍」等という国際合意が確認されました。

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が発表した、地球の温度上昇を 1.5 度以下に抑えるための炭素予算を日本の人口で按分すると、2030 年までに 60%以上の削減が必要です。また、国際研究機関のクライメート・アクション・トラッカーの試算によると、2030 年までに 62%の削減が必要です。

牛久市でも、より具体的に、かつ科学的根拠に基づいた計画が必要です。そのため、下記を請願として牛久市に求めます。

記

- 1 2030 年 CO2 削減目標を基準年(2013 年)比で 33%では、確実に 2035 年に 60%達成は現実的ではないため、2026 年をまたず、削減目標の早期改定(引き上げ)。

以上